

# 【子宮がん・乳がん集団検診】完全予約制で実施

☎保健センター ☎85-6900

## 1. 集団検診の種類

検診名	対象	自己負担金
子宮がん検診(頸部細胞診)	20歳以上の女性	●国保・後期：500円 ●その他：1,300円
乳がん検診 マンモグラフィ 1方向	50歳以上の女性 (2年に1回)	●国保・後期：500円 ●その他：1,000円
乳がん検診 マンモグラフィ 2方向	41～49歳の女性 (2年に1回)	●国保・後期：500円 ●その他：1,600円
乳がん検診 超音波(エコー)	●30～40歳の女性 ●41歳以上の女性で、前年度マンモを受けた方	●国保・後期：500円 ●その他：1,000円

◎生活保護受給者は、「生活保護受給証明書」の提示で自己負担金が無料。

## 2. 子宮がんと乳がん同時実施日※乳がんのみの受診はできません。

日程	会場	予約受付締切日
7月 ☆14(木)・15(金) 16(土)・17(日)	取手ウェルネスプラザ	7/1(金)
19(火)～22(金)	藤代公民館	7/5(火)
27(水)	井野公民館	7/13(水)
28(木)・29(金)	戸頭公民館	
8月 1(月)～4(木)	福祉交流センター(市役所敷地内)	7/19(火)
17(水)・☆18(木) ☆19(金)	取手ウェルネスプラザ	8/3(水)

☆の日は託児が可能です。申込時に、子どもの年齢と人数をお伝えください。

◆検診当日の受付時間…①13:00～13:15②13:30～13:45

## 3. 乳がんのみ実施日

日程	会場	予約受付締切日
8月 26(金)	福祉交流センター(市役所敷地内)	8/12(金)
30(火)	取手ウェルネスプラザ	
9月 1(木)・2(金)	藤代公民館	8/18(木)
3(土)	取手ウェルネスプラザ	
5(月)		戸頭公民館
6(火)・7(水)	井野公民館	
8(木)	福祉交流センター(市役所敷地内)	
9(金)		

◆検診当日の受付時間…①9:00～9:15②10:00～10:15※①②マンモのみ  
③13:00～13:15④14:00～14:15

■注意事項…下記のいずれかに該当する方は、受診できない場合があります。保健センターへお問い合わせください。

子宮がん…▶性交渉の経験がない▶妊娠中または妊娠の可能性のある  
乳がん…▶妊娠中または妊娠の可能性のある▶現在、乳房疾患で治療中または経過観察中▶授乳中または卒乳後6カ月以内▶豊胸手術後やペー  
スメーカーを入れている

予約方法は電話※予約受付期間：6月15日(水)から



保健センター(電話が繋がりにくい場合があります)

☎85-6900 (平日8:30～17:15)

※各予約受付締切日は、2. 3. の表をご確認ください

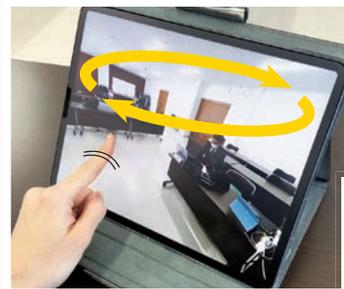
## 市議会初 議会改革度調査ランキング2021 2年連続1位を獲得!

☎議会事務局 ☎内線1801

5月13日、全国地方議会サミット2022で早稲田大学マニフェスト研究所が、「議会改革度調査ランキング2021」を発表しました。

取手市議会は、2年連続で全地方公共団体1,788議会の中から1位を獲得しました。2年連続の1位は市議会として初の成果です。これまでのオンラインビデオ会議システムやICTを活用した議会改革推進のほか、市民参加型の会議録作成事業を行うなど、積極的な住民参画、情報共有を行った点が高く評価されました。

取手市議会  
議会改革度調査



全方位カメラで、360度見たい場所の映像が視聴可能に

議会運営委員と市民がZoom上で意見交換



## 市長 Mayor's column コラム

オール取手で水害に備えましょう



取手市長

藤井信吾

地球温暖化などの影響を受け、梅雨末期や台風の時期にとどまらず、大雨が私たちの生活を脅かすようになってきています。今年の夏も、いつ・どこで、線状降水帯が発生して、雨量の記録を塗り替えるか予想がつかません。

令和元年の台風19号では巨大な雨雲は東日本をすっぽり包み、千曲川や阿武隈川、さらには、県下の久慈川、那珂川でも氾濫を伴う大きな被害が出ました。取手市でも、利根川取手観測点の水位は当時の避難勧告の基準である7.50m(現在の避難指示水位は7.40m)にあと15cmと迫る7.35mに達しました。

これらを受け、地域の関係者が連携していざという時に適切な避難行動を取れるよう、昨年12月から今年5月

26日まで3回のシリーズで、「コミュニティ防災を目指そう!」と題するワークショップを開催しました。

市内の浸水想定区域の自主防災会、市政協力員、民生委員・児童委員、防災士が参加し、徹底した議論に基づく「わが地区のコミュニティタイムライン」を作成してもらい、全体の場で発表していただきました。市の職員である市民協働推進員も各グループに入り意見集約と発表のお手伝いをしました。

全体をご指導いただいた東京大学大学院の松尾一郎客員教授によれば、タイムラインとは、10年ほど前に米国のニュージャージー州で初めて採用された、水害時に合理的に逃げるための行動基準だそうです。

5月10日、「タイムライン防災・全国ネットワーク国民会議」が結成されました。コミュニティタイムラインを有効に活用して尊い命を救うことができるよう防災関連の各機関や他のノウハウのある自治体とタイムラインの取り組みを共有していきたいと思っております。

また、5月21日には、取手市の利根川河川敷で、国土交通省、県、自衛隊、県警、市、市水防団(消防団)が一斉に集い、利根川水系連合・総合水防演習が行われました。

市水防団による見事な水防活動、消防本部の災害重機機動隊による充実した重機を操作しての救出訓練に盛んな拍手が送られていました。

普段からの備えと心合わせのオール取手で、水害に備えましょう。